

近代英語協会ニューズレター

2011年(平成23年)7月3日

近代英語協会事務局

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1

広島女学院大学大学院言語文化研究科

英米言語文化専攻

米倉研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/>

電話 082-228-0386(大代表)

振替口座 00810-9-5821)

東日本大震災においてお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様およびそのご家族の方々に対し、衷心よりお見舞い申し上げます。

1 第28回大会について

去る5月20日(金)に、福岡女子大学大学会館ホールにおいて開催され、1件のシンポジウム、8件の研究発表が行われました。発表者と司会者の皆様、お疲れさまでした。

聴衆の皆様には、熱心にご清聴いただき、また、貴重なコメントや質問をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

38名の方が出席された懇親会では、玄界灘の幸、筑紫平野の幸がふんだんに並べられ、学問的話題に花が咲き、瞬く間に90分が過ぎゆきました。

今大会の参加者数は85名でした。特別講演が含まれている大会(*付の年)以外の大会としては、久々に盛会となりました。どうか会員の皆様には、次回も万障お繰り合わせの上ご出席を賜りますようよろしくお願い申し上げます。(表の下段に懇親会参加者数も示しておきました。)

2004*	2005	2006	2007*
約100	約70	72	84
50	約50	約30	32
2008*	2009*	2010	2011
約100	約80	72	85
45	25	39	38

なお、開催校の向井毅教授、村長祥子准教授、神山絵美助手、都地沙央里さん、花野礼奈さん、山口裕美さんには、開催校決定以来大変お世話さまになりました。快適な施設をご提供くださった大学関係者の皆様に対しましても、ここに厚く御礼を申し上げます。

2 第29回大会について

次回大会は、日本英文学会大会(2012.5.26-27、於専修大学生田キャンパス)前日の5月25日(金)に、青山学院大学(東京都渋谷区)において開催されます。開催校の山本史歩子先生には大変お世話さまになります。

シンポジウムは、「文文化と構文化(仮題)」というテーマの下、愛知学院大学准教授 前田満先生に司会と講師を、青山学院大学名誉教授 秋元実治先生、愛知大学教授 川端朋広先生に講師を務めていただきます。

個人研究発表の締め切りは2012年1月31日(火)となっております。発表をご希望の方は、300字程度の要旨に氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、e-mailアドレス)を添えて、下記宛てにお申し込み下さい。

電子ファイル(MSWordの添付ファイルにて)

nakamura@for.aichi-pu.ac.jp

打ち出し原稿(特殊文字なくば不要)

〒480-1198

愛知県愛知郡長久手町大字熊張

字茨ヶ廻間1522-3

愛知県立大学外国語学部

中村不二夫

3 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞の選考結果について

ご応募ありがとうございました。編集委員会による厳正なる審査の結果、惜しくも今回はどちらも該当者がいらっしゃいませんでした。またのご応募を心よりお待ちしております。

既にご案内のとおり、旧「新人賞」「佳作」は、それぞれ「最優秀新人賞」「優秀学術奨励賞」に名称が改められています。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に秀でている論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与える方式が変わっています。論文応募の際、「執筆者情報ファイル」の該当欄に(√)をご記入いただくだけで結構です。

♥選考対象論文 選考対象は、協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、原稿応募時に事務局編集幹事からの問い合わせに対し賞の選考を希望する意思が表明されていた論文に限ります。

♣受賞者に授与されるもの 最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与されます。

◆受賞重複の禁止 各賞の受賞は、それぞれ1回限りとします。

♣会員への告知 総会、夏号ニューズレター、協会ホームページにおいて告知されます。掲載論文が発行された翌年、総会において授賞式が行われ、その栄誉が讃えられます。

4 『近代英語研究』第27号の発行について

第27号は予定どおり刊行され、大会ご出席の会員の方々には当日お渡しいたしました。当日ご欠席の会員の方々には、このニューズレターとともに同封申し上げました。

5 『近代英語研究』第28号の原稿

募集について

第28号(2012年5月発行)の投稿締め切りは2011年9月15日(木)となっております。奮ってご応募ください。審査は匿名で行われます。応募要領は、協会ホームページ左下「出版物」の中の「投稿要領」をご覧ください。応募原稿、同電子ファイルの送付先は次のとおりです。

電子ファイル

hideshi.ohno@gmail.com

打ち出し原稿

〒712-8505

倉敷市連島町西之浦2640番地

倉敷芸術科学大学産業科学技術学部

大野英志

6 理事の交替について

ニューズレター2010年夏号でお知らせしたとおり、本年4月1日から、新理事として、家入葉子氏(京都大学)、田中智之氏(名古屋大学)、中尾佳行氏(広島大学)、藤原保明氏(聖徳大学)、松原史典氏(高知大学)が就任されています。また、2012年3月31日付で任期満了を迎える保坂道雄氏、本年4月29日付で離任の申し出をされた樋口昌幸氏に代わり、新理事として中川憲氏(安田女子大学)、前田満氏(愛知学院大学)が総会で承認されました。任期は、協会創設30周年を含む2012年4月1日からの2期4年間です。どうぞよろしく願い申し上げます。保坂先生と樋口先生には、長きにわたり協会の運営にご尽力いただきありがとうございました。

7 論文投稿・研究発表応募に関するお願い

編集委員会から、英文チェックを受けていると思えない原稿が増えてきているので周知徹底してほしいという旨の依頼がありました。『近代英語研究』投稿規定に明記されておりますように、英語論文については、英語を母語としない投稿者は投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿のチェックを受けた上でご応募ください。

他誌への二重投稿、他学会研究発表への二重応募は絶対にお止めください。

8 東日本大震災被災者に対する協会の対応について

3月23日に、近代英語協会の名で、義援金30,000円を、郵便局を通じて日本赤十字社に寄附いたしました。総会において事後承認いただきました。また、大会当日受付に用意した義援金箱に寄せられた善意の総額13,100円を、郵便局を通じて日本赤十字社に寄附いたしました。

さらに、総会において、被災された会員の2011年度分の会費を免除することが決定されました。被災された方は、「会費免除を申請します。」の一文で結構ですので、事務局長(nakamura@for.aichi-pu.ac.jp)までお知らせください。協会会員一同、皆様とお住まいの一日も早い復興をお祈り申し上げます。

9 『近代英語研究』のアーカイブ化について

第22号以前の協会誌バックナンバーをご希望の方は、送料着払いにて無料配布いたします。返信用封筒に住所氏名をお書きの上、希望する号数を明記し、事務局分室

までお申し込み下さい。過年度号の目次は協会ホームページに出ています。まずは、在庫があるかどうかを、事務局長宛電子メールにてお問い合わせ下さい。

予てから、協会誌の残部が肥大化し、事務局が保管場所を確保しにくい、事務局移転の際に宅配便代金がかさむなどの支障が出始めていましたが、これを解決する一つの方法として、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の「ジャーナルアーカイブ」が考えられます。総会では、(a)協会からの出費を伴わないこと、(b)著作権の問題を処理すること、(c)会員であることの恩典を守るため、常に最新の5号分はアーカイブに載せないこと、(d)事務局に在庫のない3,4号を会員から無償提供していただくこと(製本を裁断しpdf化するため、返本できません)を条件に、前向きに検討することが承認されました。既に申請を済ませ、現在審査結果待ちです。

10 協会ホームページのサイト移管について

協会ホームページはこれまで、国立情報学研究所学協会情報発信サービスによるホームページ提供支援を受けていましたが、2012年3月31日を以って終了するため、新たなレンタルサーバー業者を選定する必要が生じました。

事務局ホームページ管理担当の川端朋広先生のご尽力により、5つの業者を比較検討した結果、「大塚商会 Web ダイレクト」と契約いたしました。2011, 2012年度の2年間の利用料は23,777円(契約料23,515円+振り込み手数料262円)です。利用料は2年契約の更新制で行われます。

旧サイトから新サイトへ円滑に移動できるよう設定してあります。ニューズレターをお読みになった後、たとえばyahooのホームページの検索画面で「近代英語協会」と入力され、先頭にある「近代英語協会」
-Modern English Association」(www.modernenglish.jp/)を左クリックし、「お気に入り」に登録されるようお願いいたします。

11 会費納入のお願い

本年度大会の資料をお届けした4月初旬、会員お一人お一人に過去3年間の会費納入記録を記した紙をお届けいたしました。切り貼りを伴うこの作業は、時間と神経を要しますので、毎回お送りすることはご容赦ください。どうか、いま一度ご確認いただき、納入漏れのないよう今年度中に請求額全額をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。協会の円滑な運営のため、ご協力ください。なお、協会は、別途領収証を発行することは致しておりません。郵便局からお受取りになる領収証(右端の紙片)以上に公式な領収証はございませんので、大切に保管なさってください。

会費振込は、協会創設以来、郵便払込取扱票でお受けしています。お手許の郵貯口座あるいは銀行口座から協会の郵貯口座への送金は、会計監査のための書類を作成するに際し多大な時間を奪われることとなりますし、会計監査をしていただく方にも極めて複雑な作業を強いることとなりますので、ご容赦ください。決算報告書を作成する時期は、同時に、大会資料の版下原稿の作成・袋詰め・発送作業、理事会の資料作り、開催校との細かいやりとり等の時期で

もあります。どうかご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、次年度からは、新入会員と一日会員を除き、日本英文学会や日本英語学会と同様、会費の当日支払い方式は廃止する方向で検討しております。多額の現金を携えたまま懇親会や日本英文学会等に出席する不安を解消させていただくためです。

12 30周年事業について

1983年5月に産声を上げた近代英語協会は、2013年5月にめでたく創設30周年を迎えます。30周年記念行事の一環として、次の(1)、(2)が承認されました。

- (1) 第30回大会(2013年5月)の午前の部は、30周年記念シンポジウムを行う。テーマと講師の選定は、理事会が行う。
- (2) 創設30周年を記念し、『近代英語研究第30号』とは別に、30周年記念論文集を刊行する。
 - (a) 積極的に海外に発信するために、全編英語で統一する。
 - (b) 2013年4月1日～6月30日を投稿受付期間(予定)とする。
 - (c) 刊行は、遅くとも2014年4月中旬から下旬にかけてとする。
 - (d) 執筆要領は編集委員会が作成する。
 - (e) 出版に関わる費用は、寄付金と執筆者負担によって賄う。
 - (f) 寄付金受付期間は、2012年8月1日～2013年7月31日とする。
 - (g) 上記(a)～(f)を含め、会員への周知は、ニューズレター2012年夏号、冬号、及び協会ホームページによって行う。

13 協会協賛 Dr. J. Hope 講演会に

ついて

Middle and Modern English Corpus Linguistics 2011 (8月26日-29日、於大阪大学中之島センター)の翌日、以下の要領で、Jonathan Hope博士の講演会が協会の協賛により開催されます。Hope博士は、シェイクスピアを中心とする初期近代英語の研究で優れた業績をあげておられる方です。多数ご参加ください。

日時: 2011年8月30日(火) 16:00-17:30

場所: 京都大学 吉田キャンパス 文学部新館第6講義室

題目: “Visualizing English Print from c. 1470 to 1800”

講演では、Shakespeareを含めた15世紀から19世紀に出版された書籍を網羅的に電子化することにより、重要な歴史的・文化的な問題に答え、さらには、次世代のデジタル人文学の方法論を構築することを目指す意欲的試みが披露されます。詳しくは、協会ホームページの案内と講演要旨をご覧ください。

14 時計の忘れ物

大会終了直後から協会ホームページに掲載しておりますように、大会会場に時計の忘れものがありました。Legra Valenciという男物の腕時計です。お心当たりの方は、料金着払いの精密機器用封筒を同封の上、〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1 福岡女子大学文学部英文学科 向井 毅先生宛ご連絡ください。8月末以降は、協会関係者以外の方の遺失物として事務局に保管され、一定期間後処分されます。

15 お悔やみ

本年3月、協会の発起人のお一人であり、顧問として永く協会の発展にご尽力いただいた、広島大学名誉教授河井迪男先生が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

以上

協会に関するお問い合わせとご連絡は次にお願いたします。

6

- 協会誌について
大野英志
(hideshi.ohno@gmail.com)
- ホームページについて
川端朋広
(kawabata@aichi-u.ac.jp)
- その他全般について
中村不二夫
(nakamura@for.aichi-pu.ac.jp)

昨年より1週間遅い発行となりましたこととお詫び申し上げます。日本英文学会の開催日程と場所が決定されるのを待っておりました。

暑い夏になりそうです。ご自愛くださいますように...